

会議の概要報告

会議の名称	第2回学校運営協議会
1 開催日時	8年7月22日(水) 13時30分～14時30分
2 開催場所 (又は開催方法)	旗川小学校 図書室 ☐ オンライン会議 ☐ 書面会議
3 委員等の人数	6人
4 出席委員等の人数	4人(内1名は紙面での参加)
5 議題	・グループ協議 児童のために学校と地域が協力してできること テーマ：こんな児童になってほしい ・グループ協議で出た意見の共有 ・まとめ
6 会議の公開・ 非公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	0人
8 会議資料の名称	第2回学校運営協議会

9 会議の概要 (発言の要旨等)	○2つのグループに分かれての協議 児童のために学校と地域が協力してできること テーマ：こんな児童になってほしい Aグループ ・「あいさつ」が大切である。社会に出てからも大切である。 ・「諦めない、挑戦し続ける心」の土台にあるのが、「素直な心」だと思う。失敗も含め、自分や友達を受け入れることが大切であり、規律を守っていくことも必要になってくる。  Bグループ ・「人との関わり」が大切である。そのためには、やはり、「あいさつ・思いやり」が大切である。 ・「旗川っていいな」と思える子供を育てていきたい。そのためには、「地域」が関わって、子供たちが集まる活動をPTAや子供会、町内会でできたらいいと思う。  【まとめ】 オブザーバー様から ・「地域と共にある学校づくり」 この解決に向け、地域を頼り、投げかけていく。そうすることで、子供の興味・関心が高まり、学校で得られなかったことが得られることもある。 ・今回、学校運営協議会委員と共有できたが、PTA、子供たち・・・と、拡大熟議を行っていき、色々な意見、声を聞いていくことが大切であり、それを子供たちに還元できるようにして欲しい。 校長から ・それぞれのグループから、「自己肯定感」や「思いやり」など、様々な意見が出てきた。2年後には、かえて義務教育学校に行くので、それまでに何か「旗川でこういうことを学んできたんだよ」と言えれば一番かもしれないが、言えなくても、「旗川だからこそ、こういうことができたんだ」って自信をもって他の学校の子供たちと一緒にしてくれることが、子供たちにとっても保護者にとってもいいことなのかなと思う。グループ協議で話した具体的なことは、とても意味がある。 10 その他 ・第3回運営協議会（2月）の確認
-----------------------------	--